

サッカー 山崎巧琉さん(3H)



サッカーのMVPに見事輝いたのは山崎巧琉さん(3H)。山崎さんは「サッカーが強いチームだったので、勝ったときは安心しました。危ない試合があったんですが、勝てて良かったです」とほほ笑む。練習は特に、楽しみながらやることを大事にしていたという。試合中はロングボールを蹴り込んで相手のコートで試合をすることや、スピードやフィジカルを使うことを意識したと教えてくれた。山崎さんはMVPを目標に頑張ってきたそうで、「MVPが発表されたときは安心しました。基礎も大事にできて良かったです」と語った。今後も運動は続けたいと思っているそうで、もし秋の運動会でリレーがあったらリレーに出られるように頑張りたいと意気込む。

山崎さんはチームメイトに「優勝できて良かったです。めっちゃ楽しかった!」とメッセージを送った。(椿)

ドッジボール 中平柚奈さん(2D)



女子ドッジボールでMVPに選ばれた中平柚奈さん(2D)。優勝した時の感想は「うれしかったです」と一言。また、「クラス全員で盛り上がってくれてうれしかったし、盛り上がり具合もすごかった」と笑顔で話す。共に戦ってくれたメンバーに対して全員が一生懸命に今回のドッジボールの試合に取り組むことで一致団結できたそう。秋の運動会では「優勝目指して頑張りたいです。今回みたいにクラスのみなのでお互い応援しあえたらいいと思います」と意気込む。

今一番言いたいことは、自分だけで勝てたわけではなくメンバーがいてこそ成り立ったということだそう。また、チームのメンバーにありがとうと伝えたいと話してくれた。(富)

男子バスケットボール 浅見大和さん(1H)

男子バスケットボールでチームを見事優勝に導き、MVPに選ばれたのは浅見大和さん(1H)。浅見さんは今回の大会について、「最初は勝てると思っていなかったけど、チームのみんなと応援の力のおかげで勝つことができ嬉しかったです」と振り返った。また、最も印象に残っている相手として決勝の



2Gをあげてくれた。試合中は、チームを引っ張っていきけるようにディフェンスもシュートも積極的に自分でやるようにしていたという。秋の運動会に向けては「次回からは制限がついてしまうけど、いい結果をのこしてチームメイトを引っ張っていきけるようなプレーを出来るように頑張ります」と語る。クラスに向けては「応援と声かけがとても力になったので、秋の運動会も応援よろしくお願いします!」とメッセージを送ってくれた。(蓮・小)

MVP 特集 2026 春球大

~勝利を導いた英雄譚~

すっきりしない天気だが白熱した激闘の数々。その中でも素晴らしい輝きを見せた6名の英雄たち。彼らの活躍の裏側取材した。

女子バスケットボール 海老沼千彩さん(1G)

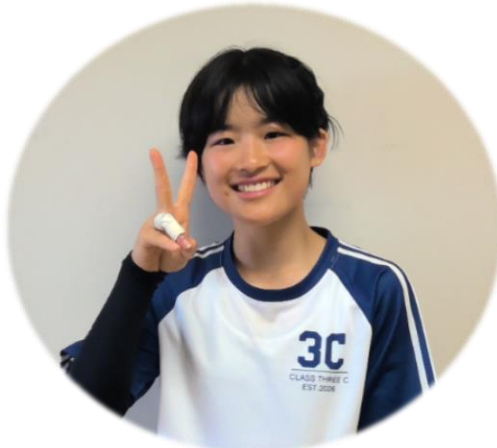


女子バスケットボールの決勝で12点稼ぎ、MVPに輝いた海老沼千彩さん(1G)。優勝した時の感想について、予選で一回負けてしまったがそこから力を合わせて優勝できて嬉しかったと語る。MVP受賞については、一生懸命に取り組んで良かったという率直な感想を述べた。時間が合わなかった事からあまり一緒に練習出来なかったそうだが、

仲良かった故にチームワークが取れて良かったと練習時を振り返る。一番印象に残った試合は、やはり決勝だという。第1ピリオドの負けている中でファールを何個か貰えたりして点数をそこまで離されずに終わって良かったと語る。

秋の運動会へ向けて、何に出るかは分からないが優勝を目指したいと意気込んでいた。チームのみんなに対しては、「人数が多いわけではなかったけど、コミュニケーションを取って連携できたりしてくれて助かりました」と言葉を送った。(蒲)

女子バレーボール 菅原紅音さん(3C)



女子バレーボールのMVPに輝いたのは菅原紅音さん(3C)。1年生の春からずっと球技大会でバレーボールをやっていて、初めて優勝できて嬉しかったと話す。2日目に自身のミスが続いた時、チームメイトが励ましてくれたり声をかけてくれたりしたことが印象に残っているそう。そのおかげで2日目を勝ち切ることができた話し、「仲間の声掛けで救われたから、3日目に今度は自分が引っ張ろうと思って頑張りました」と語った。

決勝の2Fとの試合では、第1セットを取られて後がない状況に追い詰められるも、3Cが第2、3セットを取り返して逆転勝利を収めた。「円陣を組んで気合を入れ直して、諦めずにボールを繋げたから勝つことができた」と振り返った。「バレーボールは一人ではできないスポーツなので、球技大会で競技ができたのも、ボールが最後までつながったのも仲間のおかげです」と話す菅原さん。クラスメイトに向けては「みんなが頑張ってくれたから総合優勝もできました。チームとして戦ってきた全員に、おつかれさまとありがとうを伝えたいです」と笑顔を見せた。(椿・高)

男子バレーボール 田村熙太郎さん(3K)



男子バレーボールで見事MVPに輝いた田村熙太郎さん(3K)。「ぎりぎりでしたが、最後まで勝ち残れて嬉しいです」と話す。MVPを取るのは今回でなんと3回目だそう。これまでのMVPは2回ともバスケットボールで取ったらしく、バレーボールに出場するのは今回が初めてだったという。

田村さんは、「初めての競技だったけど、MVPが取れて嬉しかったです」と笑顔を見せた。今回の大会で印象に残っている試合を尋ねると、「2試合あって、2日目の3J」と、決勝の3Cです。3Jは同じ進学文系で結構強かったです。3Cはどんなボールも返してくるので、シーソーゲームでした」と語った。キャプテンが戦術やローテーションを教えてくれたので、自分は打つことだけに集中できたという田村さん。仲間に向けて「みんながいなくて勝てなかったのが、感謝しています」とメッセージを送った。(燕・翠)

大会報告

放送部
▽6月7日
第73回NHK杯全国放送コ
ンテスト朗読部門
都大会決勝進出
永井智汎(3B)
渡邊心咲(3C)

映画研究部

▽6月7日
第73回NHK杯全国放送コ
ンテスト東京都大会予選
テレビドキュメント部門
創作テレビドラマ部門
決勝進出

紫羅欄花

文藝部とのコラボ企画『紫羅欄花』連載最終回。本企画は、文藝部悠有志の皆さんが、毎号書き手を替えて話を紡いでいくリレー小説。ぜひ楽しんでほしい。(前回までのあらすじ)
高校生の『僕』は自称幽霊にUFOに乗せられ、カレールームに飛ばされた。
* * *



紫羅欄花最終回に寄せて、文藝部の来白さんに挿絵を描いていただいた

「救えてください。僕は一体何に巻き込まれてるんですか?」
再び地球に、体育館裏に戻ってきたとき、僕の頭の中は謎の生後がいるんだ、きつと助けになれる」
「...で、でも...」
「それに、あなたの言う通り、僕は今なら変わる気がしません。こんな体験は、二度とないでしょうから」
僕がそう言うと、彼女はやっぱり笑ってくれた。やっぱりその方がいい、未来を見つめる顔は笑顔でなくっちゃ。
(3年文藝部 壺藤)
* * *